

## 大 津 北 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和5年9月27日(水) 午後0時30分から午後1時40分まで
開催場所	大津北警察署3階会議室
委員	石井智会長 前川賢慈副会長 海老亜紀委員 仲川恵子委員 中谷邦子委員 西村秀哉委員
警察	署長 副署長 警務調査官 地域課長
議事概要	<p>1 滋賀県警察学校卒業式参列</p> <p>警察署協議会に先立ち、滋賀県警察学校で举行された初任科第127期短期生卒業式に参列した。</p> <p>2 署長あいさつ</p> <p>署長から、「先ほどは警察学校の卒業式に参列していただき、感謝する。本日卒業した警察官が、一年経つとどれくらい成長するのか、若手警察官と懇談していただきながら感じていただきたい。本日も活発な協議会をよろしくお願いしたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 若手警察官との食事会及び懇談</p> <p>昨秋卒業し、大津北警察署に着任した初任科第126期生2人との食事会及び懇談を実施した。懇談では、若手警察官の功劳話や警察官としてのやりがいなどが披露され、各委員から、「これからも大変なことがあると思うが、初心を忘れず県民のために頑張っていたきたい。危険な事案への対応もあると思うが、命を大切に職務に精励していただきたい。」と激励の言葉が掛けられた。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 若手警察官の指導育成方策について</p> <p>警察から、採用募集パンフレットを用いて、若手警察官の早期育成の必要性、教養体制及びその内容、課題について説明がなされた。その際、委員から、「人材確保が重要と思われるが、リクルート活動について警察はどのような活動をしているのか。」旨の質問がなされ、警察から、「滋賀県は、公安職と呼ばれる自衛隊、消防、警察合同で説明会を開催することも多い。これまで訪問してきた大学以外にも、新規の大学に対しても説明会の開催を依頼したり、X(旧ツイッター)やフェイスブックのようなSNSを利用している。」、「採用の実情はとても厳しいが、体力や性格的なものも含めて警察官の資質も重要で、採用の複線化を図っているところである。一人一人の応募動機を高めて採用後のミスマッチを防ぐことが重要と考えている。」旨の説明がなされた。委員から、「企業のようなインターンは難しいが、色々な犯罪のデータを利用してシミュレーションゲームを作成し、リクルーターや育成等に用いればおもしろいのではないか。また、ゲーム好きの小学生や中学生も利用できれば、警察の仕事により興味を持ってもらえるのではないか。」、「警察の仕事は決してAIでの対応はできない。県民の安心を守ってもらわなければならない。民間企業以上に人材を増やしていただきたい。」旨の</p>

意見があり、警察から、「委員の御意見なども参考に、引き続き、優秀な人材の確保に努めていく。」旨の説明がなされた。

(2) その他（警察活動に対する意見・要望等）

委員から、「外国語の需要が高まっているが、外国語に対する対応はどのようにしているのか。」旨の質問がなされ、警察から、「警察官一人一人に持たせている端末機には翻訳機能がついている。また、三者通訳と言って、通訳人、警察官、当事者3人が電話で話すことができる電話通訳という形で外国語への対応を行っている。」旨の説明があった。また、委員から、「IT化が進んでいるが、言葉で人とつながることが大切である。中には警察官をシャットアウトする方もいるが、特にお年寄りとは話をするのが好きなため、是非とも積極的に地域住民に顔を覚えてもらう活動をしてもらいたい。そして、警察官は恐いではなく安心というイメージを与えてほしい。」旨の意見がなされた。

5 次回開催について

次回の協議会開催は11月上旬、逮捕術訓練の様子を見学予定

6 総括

会長から「若手警察官の育成について、大変御苦労されている。また、本日は警察官の金の卵の旅立ちを目の当たりにして感動した。彼らがすくすくと育ってくれることが、我々の安心安全につながっていくことと考えられる。」旨の発言がなされた。